

教科主任会より ～講座等からの学びの共有～

今回は、先日の教科主任会で確認したことを共有します。各教科で再度確認し、授業改善につなげていきましょう。

協働校事業「理科」授業研究会を通して

課題意識をどう持たせるかを教科会で検討していく。

- ・解決しないといけないことは何か、課題は何か、課題に気付かせたり出合わせたりする場面を工夫していく。その際、生徒の「なぜ?」「どうして?」を出発点としていく。
- ・教師が学ばせたいことと、生徒がやりたいことを結び付けるためにどんな発問をすればよいか検討しておく。

どこで何を見取り、教師がどう声かけをするのかなど、授業の具体的なイメージを教科会で確認しておく。

- ・生徒の思考の流れを想定し、生徒がどうなればどんな支援や発問をするのか等、色々な場合で具体的に確認しておく。
- ・生徒が「自分(たち)で考えて自分(たち)でやっている(探究を回している)」という感覚になれるように支援・指示・発問等を具体的にイメージしておく。



教科主任会で確認したことは全て研究主題や全国調査後の取組につながっています。

研究主題：見方・考え方を働かせて課題解決できる生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びを通して～

全国調査を通して見えた本校の課題

- ①意味的理解をともなった知識の習得。正確性とともなった技能の定着。
- ②複数の情報を比較したり、根拠を明確にしたりして、意見や考えを書いたり発表したりする。また、その根拠が正しいのか批判的に考えたり、他者の考えを読み取ったりする。
- ③自ら問題を発見し、日常事象と関連付けて、問題解決の見通しを持つ。(探究力を付ける)

授業づくり講座「社会」授業研究会を通して

各教科の見方・考え方を具体的に確認しておく。

- ・各教科それぞれ特有の見方・考え方があるため、その視点で生徒が見たり考えたりできているかを確認する。また、単元や1時間の授業レベルでどんな見方・考え方を働かせて課題解決させるのか具体的に確認していく。

比較・関連付け等をもとに課題解決できる授業展開や発問について整理しておく。

- ・生徒が課題解決にあたり、見方・考え方を働かせて比較したり関連付けたりする思考になるような授業展開や発問を整理しておく。その際、生徒の「なぜ?」「どうして?」を大事にする。



*授業づくりの視点は全教科共通して「目標→内容→方法→評価」であることや、教えたい知識内容が1教科にとどまらず他教科や図書、総合などへ広げたり連携させたりすることの大切さについても勉強になったということも出されました。

高知県学力定着状況調査に向けて

いよいよ県版調査の実施日が近づいてきました。理科・社会の朝学習も始まっています。11月29日(火)の放課後からも補習が始まります。全国調査後の課題への取組(授業改善)の検証の日となりますが、短期的にできることとして、残りの時間の中で、次のことを確認してください。

いつ? どの問題を使って?
定着が不十分な内容や指導事項は何か?
この1問ができるようになるとスコアがぐっと上がる問題は何か?

